

小川芳也 准教授・博士(工学)	E-mail	yoshiva@matsue-ct.jp
	専門分野	河川工学, 水工水理学

対応可能な分野
<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境保全や復元, 災害対策を目的とした河床変動・流れ特性の把握 2. 河川分合流部周辺の河床変動・流れ特性の把握 3. 水害や土砂災害を対象とした防災力向上
研究内容
<p>◆ 1 環境保全や復元, 災害対策を目的とした河床変動・流れ特性に関する研究</p> <p>植生や樹木の繁茂により, 河川水が通過する面積が狭められ治水上好ましくない一方で, それらを利用して生活する動植物にとっては必要不可欠な資源であり, 適正に管理することによって共存できると考えます。また, 堤防が破堤(決壊)した際に人命や住宅地, 田畑などに与える影響は計り知れないことから直ぐには壊れない粘り強い堤防が求められています。</p> <p>模型実験や数値解析, 現地調査などの手法を用いてこれらのことを目的とした研究に取り組んでいます。</p> <p>◆ 2 河川分合流部周辺の河床変動・流れ特性に関する研究</p> <p>河川と河川が合流する地点では, 流れの速さや水量などが異なるために複雑な流況を形成しています。洪水時は, その状況が顕著に現れて「バックウォーター」に起因する水害が報告されています。また, 河床についても複雑な様相が考えられます。</p> <p>模型実験や数値解析, 現地調査などの手法を用いてこれらのことを解明する研究に取り組んでいます。</p> <p>◆ 3 水害や土砂災害を対象とした防災力向上に関する研究</p> <p>洪水はん濫や内水はん濫などの水害, 土砂災害から人命や財産をできる限り守ることを目的として, 現地調査やヒアリングなどのフィールドワークやはん濫シミュレーションといった手法を用いて, 地域の防災力向上を目指した研究に取り組んでいます。</p>
主な使用機器・設備など
水路幅 30 cm, 長さ 10 m の可変勾配型開水路 など
産学連携に関する実績
特になし